



タイマー

- [ワイヤレス タイマーについて \(1 ページ\)](#)
- [ワイヤレス タイマーの設定 \(GUI\) \(2 ページ\)](#)
- [ワイヤレス タイマーの設定 \(CLI\) \(2 ページ\)](#)

ワイヤレス タイマーについて

この機能を使用すると、クライアントが Cisco WLC との関連付けを初めて試行する際の認証タイムアウト期間を設定できます。クライアントが認証されると、Cisco WLC はデフォルトのタイムアウト期間 (10 秒) を使用します。

AP の障害により無線カバレッジ領域にギャップが生じているために、クライアントが他の AP を探している状況では、AP は再び関連付けられた後に、クライアントの接続性に関するレポートを Cisco WLC に送信します。これらの AP からのレポートに基づき、コントローラは AP の伝送パワーを増やして、カバレッジギャップを減らします。この機能は、AP の統計情報レポートを現在の 90 秒ではなく 60 秒で Cisco WLC に送信するニーズに対応しています。このレポートは、現在の設定サイクル期間の 180 秒ではなく、60 秒ごとに WLC からアカウンティングサーバに送信されます。これにより、デバイスでのアカウンティングデータの使用における遅延が削減されます。

ワイヤレス タイマーの制約事項

RADIUS アカウンティングサーバの [Interim Interval] 値は、[AP CHD Report] に設定されている値 (秒単位) の倍数で指定する必要があります。残りの [AP CHD report] 値の許容値は 30 秒です。

[AP CHD report] 値が 60 秒の場合、[AAA accounting interim interval value id] は、60、120、180 秒などの倍数です。

ワイヤレス タイマーの設定 (GUI)

手順

-
- ステップ 1 [Wireless] > [Timers] の順に選択し、[Timers] ページを開きます。
- ステップ 2 [802.11 Authentication Response Timeout (seconds)] フィールドに入力します。
- ステップ 3 ボリューム使用状況測定 of 最小間隔を設定します。
- [RRM CHD Report Interval] フィールドに値を秒単位で入力します。範囲は 60~90 秒です。デフォルトは 90 秒です。
 - [WLANs] > [WLAN ID] > [General] > [AAA Servers] の順に選択し、[WLAN AAA server] ページを開きます。
 - [RADIUS Server Accounting] に [Interim Interval] の値を入力します。

(注) この期間は RRM CHD レポート間隔 (秒数) の倍数にする必要があります。

例 :

[RRM CHD Report Interval] が 60 秒に設定されている場合は、[Interim Interval] の値として 60、120、180、240 などの秒数を入力します。

- ステップ 4 [Apply] をクリックします。
-

ワイヤレス タイマーの設定 (CLI)

手順

- 次のコマンドを入力して、802.11 認証応答のタイムアウトを設定します。
config advanced timers auth-timeoutseconds
デフォルト値は 10 秒です。
- 次のコマンドを入力して、ボリューム使用状況測定 of 最小間隔設定を行います。
 - 次コマンドを入力して、AP カバレッジ レポートの期間を設定します。
config advanced timers ap-coverage-report interval-seconds
範囲は 60~90 秒です。
 - 次のコマンドを入力して、RADIUS サーバ中間アカウント間隔を設定します。
config wlan radius_server acct interim-update interval
範囲は 180~3600 秒で、デフォルト値は 600 秒です。